



暑さを吹き飛ばそう！ 納涼会開催

8月10日(土) 17時～19時30分
サンパルネ・コンベンションホール

昨年は74名の多くの参加者で盛り上がった真夏の祭典「納涼会」。会場は昨年と同じ東村山駅西口、駅直結で利便性抜群の「サンパルネ・コンベンションホール」です。

今回も今春母校に入学した新入生を招待し、早稲田祭実行委員の現役学生も参加します。メインイベントの早大ニューオールリズジャズクラブの演奏は、会場を大いに盛り上げてくれるでしょう。

ご家族の参加も大歓迎。会員の皆様ふるってご参加ください。

記

日時 8月10日(土) 17時～19時30分
場所 サンパルネ・コンベンションホール
(東村山駅西口 駅ビル2階)
出演 早大ニューオールリズジャズクラブ他
会費 会員 4,000円
会員家族 2,000円



(本件のお問い合わせは、事務局長 當間昭治 391-6023へ願います。)

会からのお知らせ

○ 平成25年8月定例役員会

日時： 8月10日(土) 午後2時～4時

場所： サンパルネ・コンベンションホール

午後5時から同場所で「納涼会」を開催します。多くの会員の皆様のご参加をお願いします。

○ 会長候補者及び役員候補者の立候補受け付けについて

東村山稲門会会則第8条に「役員任期は2年とする。ただし再任を妨げない。会長の任期は原則4年までとする」とあります。現会長の任期は昨年の改選時点で4年の任期を終えていましたが、諸般の事情で後継会長が決らず、1年限りということで続投となりました。したがって来る11月17日の第18回定時総会で新会長を選出することとなります。つきましては、会長候補者を募集しますので、「ひとつ会のため汗をかいてやるか」という方の立候補を是非ともお願いします。今回は新会長の任期は1年となり、正式決定は11月17日の総会での承認後となります。なお、幹事も合わせて募集します(任期1年)ので、会の運営に携わって頂ける方の立候補もお願いします。

立候補者がいない場合は役員会で候補者を決めることとなりますので、ご了承下さい。

組織というのは人の構成体で成り立つものです。会員の皆様お一人、おひとりの力が必要です。是非多くの皆さんの積極的な参加をお願いします。立候補頂ける方は、7月31日までに當間事務局長までご連絡下さい。(391-6023)

☆ 他稲門会関係

7月7日(日) 東大和稲門会総会 小亀会長・當間副会長・福田副会長出席

☆ 東村山市役所稲門会（通称）の新入会員歓迎会開催

「小亀会長・岡田副会長・大内副会長が出席」

6月21日（金）午後5時半から「丸藤」で通称東村山市役所稲門会の新入会員歓迎会が小林部長のご尽力で行われ、東村山稲門会から小亀会長他2名の役員の方の参加を頂き、市役所職員との交流が盛大に行われました。

会は、小林部長の挨拶に始まり、小亀会長から東村山稲門会のご紹介と市職員の稲門会入会のお願いがあり、市役所OBの長島氏の乾杯の音頭で開宴となりました。新入会員3名を含み13名が集まり、宴が始まった当初は緊張気味であった新入会員もすぐに先輩職員と打ち解け、同じ大学を卒業したことの縁で、和気藹藹と話が盛り上がり、これが早稲田の最大の強みであることを再認識しました。出席者全員が自己紹介を行い、その後、市の行政についてや、母校早稲田大学の話に花が咲き、当初2時間でお開きにする予定でしたが、結局4時間を超える長い宴会となりました。

最後は小亀会長の指揮で校歌「都の西北」を全員で歌い、名残を惜しみながらお開きとなりました。今後このような機会を作って行きたいと考えております。

（秋山 剛 記）

☆ 藤澤博恭氏 稲城稲門会総会で講演

藤澤博恭氏（会員 元アサヒビール副社長 S29政経卒）は、6月16日に開催された稲城稲門会の総会で講演されました。

きっかけは、昨年の三多摩支部大会で幹事をした、稲城稲門会の幹事長、石井正之さんと知りあったことです。石井さんと互いの活動内容を交換する中で、東村山稲門会が平成11年1月から「雑学講座」を開催し、市民からも好評を得ていること。その第1回を藤澤さんが担当し、更に続編として24年2月に2度目の講演をしていただいたことを話しました。石井さんからは、内容も分かりやすく、稲城稲門会が公開講座として計画した今回の企画に合うので是非との思いを告げられました。

演題は「ビール屋人生に華（はな）あり」とし、藤澤さんは①アサヒビール入社時からビールシェアトップになるまでのご苦労、②ビール業界の今後と課題、③園芸に親しむきっかけと人生観や世界観 の3つについて、1時間熱弁をふるわれました。

稲城稲門会とは今まで交流がほとんどありませんでしたが、今回のことをきっかけにして、新たな展開が期待できそうです。（総会には小亀会長と當間が出席しました。）

（當間 昭治 記）

☆ ホームページリニューアルが完成しました

懸案だった新ホームページが完成し、7月1日から公開されました。コンセプト及びプランづくりについて、2月にプロジェクトを委嘱されてから11回のプロジェクト会議、6回の役員会・運営会議等で審議を重ねました。コンテックス編集は福田昇七副会長、小菅宏幹事と3人で行い、ページデザイン、コーディング作業を野田直会員と淑子夫人が担当してくれました。

また同好会世話人の方々には記事、写真の提供等一方ならぬお世話になりました。ゴルフ場の雰囲気写真をご自身のプレイ中にわざわざ撮ってきてくれたゴルフ同好会の方もいらっしゃいました。東村山稲門会の組織・沿革及び雑学講座は當間昭治副会長に纏めて頂く等、様々分野の方々に多岐にわたるご協力頂きました。

今度の参議院選挙から政党や候補者はホームページやブログ、ツイッターやフェイスブックを使った情報発信が認められました。街頭演説の告知や動画配信も出来ます。有権者にとってはインターネットを使って、候補者の情報をより簡便に手に入れる事が可能になったのです。これからの選挙ではネットを活用出来る陣営と出来ない陣営の格差はどんどん広がると言われています。

現代の情報環境は驚く程のスピードで変化しています。同好会のご案内に、ご友人に東村山並びに稲門会を説明したい方、仲間をつのって何かを計画したい人、急なお知らせをしなければならぬ時等ホームページを是非ご活用ください。まずは東村山の自然ではじまる美しい画面、コンセプトカラー紺碧をベースにした全体デザインそしてイベント、同好会を始めとする豊富な情報をご堪能下さい。

このホームページは発展途上の道半ばにあります。会員の皆様のご希望を伺いながらプログラムを充実させていきたいと考えております。ご協力の程を宜しくお願いいたします。

最後にこのプロジェクトにご協力いただいた全ての方、そして最初に東村山稲門会ホームページの道を開いて下さった伊藤友己様本当にありがとうございました。感謝いたします。

URL <http://higashimurayama-waseda.jp/>

※多くの方々に数多くアクセスをしてくださる事お願いいたします。グーグル、ヤフー等による検索時アクセス数の多いものほど検索序列が前に来ます。

（大内 一男 記）

第82回雑学講座報告



「日本の食と農の未来」・・・“スマフォ”と“大福帳”

平成25年6月8日(土)午後3:00～4:30
東村山市中央公民館3階リハーサル室

講師：堀口健治氏（前早稲田大学副総長・名誉教授、東京大学農学博士）

今年は二十四節気の『芒種』は6月5日、雑節の『入梅』は6月11日となっておりますが、早かった梅雨入り宣言にも関わらず、正に暦通りに恵みの雨が降り農作業もホッと一息付くことができ、農産物も潤い始めてきました。今回は期せずして、堀口教授の演題「日本の食と農」と時宜を得た感が致します。

教授は1965年早稲田大学政経学部卒業後、東京大学大学院農学系博士号を修得しその間、鹿児島大学・東京農業大学で教鞭を取りその後、米国イリノイ州立大学、カリフォルニア大学、中国北京大学大学院などで客員教授として活躍されて参りました。1998年政経学部長、2002年常任理事・副総長2期8年奉職されてきました。大学闘争華やかかなりし頃、早稲田大学学生生活センター所長小亀輝雄氏(現東村山稲門会長)とは、紛争解決に共に闘ってきた懐かしき同朋と聴いております。

講演内容

*『食料輸入大国への警鐘』(東畑記念賞受賞著)でも謳っておりますように、今日の不安定な自給率39%(主要先進国の中で最低水準)の《日本の食糧と農業》の現状分析とこれからの食糧の安全・安心・安定供給の為には、まずは国内農業を主に**自給率50%**を目指す事が基本である。日本はお金の力で農林水産物を買いまくり、**飢餓の国スーダン**からも飼料を輸入した。世界的に栄養不足人口は開発途上国を中心に年々増加し、2009年には約10億に達する見込。**飽食日本の農産物輸入金額**は5兆5304億円(2007年財務省貿易統計、これ以外に水産物:1兆6365億円、林産物:1兆3905億円輸入)に達し、リスク・不安を抱えつつ**世界最大の輸入国**です。ちなみに『農産物・食品』の輸出は、世界的な日本食ブームや中国、東南アジアの経済発展等を背景に増加傾向にあり2007年は16.7%増の4337億円になりました。(大玉のリンゴ、米、緑茶、長芋、イチゴ、牛肉、鶏肉及びチョコレート菓子等が伸びており、国家政策として2013年に輸出額1兆円規模とし環境整備を加速化する・・・併せて自給率も向上させるのか。)

*農業構造の崩れと立て直しが同居する日本農業

1960年から2005年までの基幹的農業従事者数は1175万人から224万人に約80%も減少し、耕地面積も600万haから469万haに22%減少し、農業労働力の主力は65歳以上の高齢者が約60%を占めている。新規就農者は60歳以下7万5000人で、そのうち39歳以下の就農青年は約15%です。誰が日本の農業を守るのでしょうか。

『立て直し策』は古くて易しくない法規制の農地所有権、入会権等々色々難題を抱えてはいるが、既に明日の『国家食料・農業成長戦略』として以下の様な事業が進みつつあり、更に拡大・加速化が求められております。

まずは農業法人の振興援助(農協系統事業とは別個の市場競争原理に基づく、消費者と生産者の直接対面)と地元地域産業の活性化を目指す六次産業のコラボレーション化の推進。外国人技能実習生3年間受け入れ制度の更なる国際的運用・管理体制の改善見直し。スマートフォン等のコンピューター管理・IT化による高生産・低コスト農業への改革推進。どんぶり勘定・大福帳農業の『経験と技術』をソフト化し、新規若手就農者に継承する。再生自然エネルギーの宝庫である農山村地域の豊富な資源の活性化(畜産堆肥とバイオガス、太陽光発電、廃材有効熱利用等々)等色々考えて実行・推進が急がねばならない。

TPP/FTA論議は毎日の様に駆け巡っておりますが、日本の農畜産業界では大農業国の米国・豪州・ブラジル等の桁の違う国とは争うことは当面難しいが、オランダの農業のIT革命とブランド化(ソフト&ハードの多国間の事業化)の話の中で、オランダは日本の国土の10分の1、農地面積42%、農家人口20分の1で経済省農政局のもと世界第2位の農産物輸出額773億ドル(2010年:FAOSTAT)の**“農業”ではなく“農産業”**の位置を占めているとのこと。正にすごいなあと思ひ、日本農業はかなり遅れを取ったなと感じざるを得ません。ちなみに日本の農業輸出額は世界第51位です。

明日の日本農業・国家農業政策も大いに学ぶべき点はあると思われまふ。講演時間の関係でTPP/FTAの問題については、別席にて大いに議論・質疑に花が咲きました。

今回の雑学講座には大変暑い中、東村山稲門会会員、東村山市民の方々65名のご参加を頂きました。また、講演会にあたり大変ご協力頂き有り難うございました。

(池田 孝 記)

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

ウォーキングの会

世話人 高橋 正夫 TEL 309-3407
阿部 茂 332-0298

「狭山湖畔と早稲田所沢キャンパス巡り」

湖岸に沿った遊歩道を歩き、所沢キャンパス内を見学するコースです。

日時：7月28日（日）

集合場所と時間：東村山駅下り線ホーム中程に午前8時55分集合（9時2分の電車）

コース：西武球場前—狭山湖堰堤—湖畔沿いの道—所沢キャンパス—構内歩き
（約2時間半位）

帰路はキャンパス発小手指駅行きのバスで。

その他：昼食は小手指駅前でとりたいと思います。

空模様が怪しいときは朝7時半までに高橋宛ご確認ください。

なお、狭山湖畔は緑陰の道ですが、いちおう防虫スプレーか虫よけ具類を持参されることをお勧めします。

（高橋 記）



第36回 ウォーキング記

晴天に恵まれた5月26日、旧古河庭園と六義園を歩きました。「バラの花咲く（見込みの）旧古河庭園」と予定記事に書きましたが、盛りは過ぎていたものの、まだ鑑賞に耐える咲きっぷりで安堵しました。が、「ツツジの花咲く（見込みの）」と書いた六義園はほとんど咲き終わり、新緑の鑑賞となりましたが、広大な敷地の日本庭園は十分鑑賞に値するものでした。

六義園から巢鴨駅まで歩き、うどん屋さんで昼食をとり、とげ抜き地蔵をお参りしてから解散となりました。

参加者（敬称略）：阿部、井手夫妻＋令嬢、大内、小亀夫妻、高橋、當間夫妻、額田、堀田、山本、吉澤

（阿部 記）

パソコン同好会

世話人 小菅 宏 TEL 391-0219
福田昇七 391-9726



A クラスもメールのやり方に入りました。まず、メール設定していないパソコンに Yahoo メール ID を講師が設定し、自分自身にメールを作り送って、受信してみました。初めての送受信成功に歓声が沸きました。メール作成に必要な重要な要素も勉強しました。次に、それぞれのパソコンのアドレス帳に A クラスの全員のメールアドレスを作り、お互いにメールを交換しました。

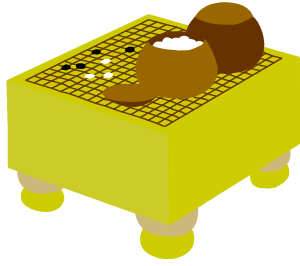
B クラスは、普段メールを活用している時に、疑問や困りごとの対応方法を勉強しました。例えば、迷惑メールの対処の仕方、受信メールのグループ化、アドレス帳にグループを作る、確認オプションの付け方・応え方、添付ファイルを修正して保存する方法等です。まだまだメールについて疑問をお持ちの方もおられますが、今後は、相談会で対応することになりました。7月から「エクセル基礎」に入ります。

6月の相談会では、「デジカメのデータをパソコンに整理して取り込む」を臨時で行いました。9名の方が参加され、これから写真のデータの整理に役立てて頂けそうです。

当面の日程は、8ページの「同好会等 短期予定表」をご確認ください。

囲碁同好会

世話人 福田 晃 TEL 394-0593
高 鷲 近 394-2336



●6月の「例会」は、6月15日(土)、午後1時より、いつもの市民センター別館で開催されました。

当日は、「午後より雨」との天気予報のためか出席者は6名と、やや寂しい例会となりました。しかしその分、じっくりと対局することができました。また、終了後も雨に合わず帰途できたのは何よりでした。

<参加者/敬称略> 江藤・高鷲・中川・野村・福田晃・塩田

○次回の「例会」は、8月17日(土)を予定しております。まだ、会場の予約ができませんので、詳細については次号の『ニュース』でご案内します。

早稲田スポーツを応援する会

世話人 大内 一男 TEL 393-6543

第7回早稲田スポーツを応援する会「ジンクスは生きていた」 (6月1日)

東京六大学野球「春の早慶戦」は弱い者同士の戦いになってしまった。シーズン前、打撃陣は若干不安あるものの投手陣は盤石という下馬評であった。実際初戦の東大戦で3年生左腕高梨雄平が完全試合を達成し期待をもたせてくれた。しかしその後は投打がちぐはぐ、頼みの投手陣もその実力を発揮できず、打撃陣は前評判通りここ一本が出ずシーズンを通じて不振であった。

当日の1回戦は小野田(3年、早実)が1回1死2、3塁から先制の左中間本塁打を放つなど3安打5打点の活躍により8対4で勝利した。

優勝などからまない一戦だったが両校とも伝統の早慶戦に相応しく、多くの応援団が駆けつけ往年に負けないぐらい盛り上がった。早稲田の応援席には白いお揃いの制服に身を包んだ係属校、付属校の小・中・高校生がスタンドに整然と座って応援しているのが新鮮だった。

今回も西東京、小平稲門会の皆様と合同の応援。チケット及び学生応援団のリーダー、チアが躍動する舞台間近の席とともに小平稲門会様が用意してくださった。観戦後は西東京稲門会様に手配していただいた新宿の「うおや一丁」で校友総勢16名の懇親会が盛大に行われた。

早慶戦前の順位は小差の勝率で慶応4位、早稲田5位。早慶戦はそのシーズン「弱い方が勝つ」のジンクス通り翌日の2回戦も9対0で連勝して勝ち点2とし、4位が確定した。

ジンクスは今回も生きていたのだ!

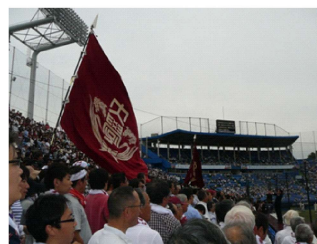


☆参加者(敬称略)

秋山、池谷、大内、小林、高橋、滝来(洋)、滝来(京)、土橋、山本

小平、西東京稲門会 9名

(大内 一男 記)



カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



6月の例会は6月8日開催しました。参加は井垣・石塚・南湖・内藤の4名と寂しい人数でしたが各自熱く歌い込み楽しい一夜を過ごしました。

会場も新たに久米川駅前と環境的にも素晴らしいと思いますので御参加をお待ちします

<今後の予定>

7月 6日(土) 19時より カラオケ家 TEL 042-313-0391

8月 10日(土) 納涼会開催のため、中止とします。

郷土史の会

世話人 高橋 正夫 TEL 309-3407
阿部 茂 332-0298

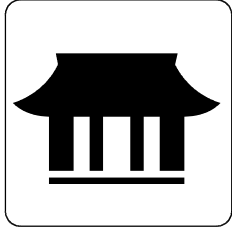
6月7日「野口町、諏訪町の歴史みて歩き」

今回は東村山駅の西側、野口町と諏訪町を歩きました。

化成小の前を通り、お馴染みのふるさと歴史館で学芸員から常設展示場の説明を受けました。30分程の短時間ながら要領のよい説明に全員頷くばかり、別の機会に2時間ほどじっくり説明を受けたいと思ったのは私だけではないと思います。

徳蔵寺から花菖蒲の咲く北山公園へ行き、集合写真をパチリ。国宝建造物である正福寺の「千体地蔵」を拝み、大善院、猿田彦神社と廻って、前回同様、東村山駅そばのさがみで昼食をとり、解散となりました。参加者(敬称略)：青山、阿部、江藤、小亀夫妻、高橋、滝来、當間、豊田、守屋、吉澤夫妻、吉田

(阿部 記)



俳句同好会 (稲酔会)

世話人 井垣 和太 TEL 04-2924-2934

第68回「稲酔会」俳句会は、6月22日(土)午後2時から「丸藤」2階で開催されました。

都議選の候補者の必死の訴えが耳につく中、定例会場に参集したのは、栗島三郎、井垣稲雀、出田麦穂、風間和夫、幸田瑞雄、内藤慎、山下波雲の7名。投句参加者は、高部糸行、丸本北窓、八木竜湖の3名。

兼題「紫陽花」の句が、10名50句のうち、18句あり、それぞれが実景・経験・心象などを5・7・5の17文字に詠いあげました。

世話人が、用紙類を置き忘れてくるチョンボもありましたが、滞りなく清記・選句・合評おこない、俳句の知識も涵養された3時間半の句会でした。

互選の結果最高句には

五月闌 覧(かけひ)の音の迫りくる 糸 行

が選ばれました。

句会のあとは、出席者のうち6名が例により楽しく会食。頭の中も腹の中も充実した会でした。

次回第69回「稲酔会」俳句会は、8月24日(土)に「丸藤」2階で開催いたします。

兼題は「初 秋(はつあき・しょしゅう)」です。(新秋・秋初め・秋口)

(稲雀 記)

テニス同好会

世話人 田島 隆夫 TEL 396-7676

6月の例会は、運良く梅雨の晴れ間となった6月15日(土)、9:00~11:00まで、運動公園のAコートにおいて行われました。湿度が高く、気温も7月中旬並みとのことでした。

今回は、会員の野村茂樹さんのグループと合流して練習と試合を行いました。前半は野村さんの指導の下で、サーブ、レシーブ、ボレーを兼ねた実戦的な練習を行い、次いで、例によってダブルスの試合を行いました。

この様な交流を行ったのは今回が初めてであり、良い刺激となりました。

当方の参加者は、小菅、滝来(京)、戸田、野田夫妻、野村(茂)、福田(昇)の各氏と田島の8名でした。



園芸の会

世話人 當 摩 照 夫・彰 子 TEL 396-3033



次回の園芸の会は、さぎ草の開花株の鑑賞会を、8月22日(木)午後2時30分より、いつもの様に市スポーツセンターのスポーツクラブ室で行います。

さぎ草は今は盛んに葉を伸ばしている頃かと思います。日差しが非常に強い時期ですので、あまり当て過ぎないように遮光などして、つぼみが上がって来るのを楽しみに、しっかり管理しましょう。多くの方の参加を期待いたします。



西東京稲門会 結婚相談室「いなほ」からの協力要請ご案内

(西東京稲門会から次のようなお手紙(要約)を頂きましたのでお知らせします)

西東京稲門会結婚相談室ではこれまで西東京稲門会の会員および会員の方のご家族や親戚、ご友人の方々に限って会員となって頂き、「出会いの場づくり」をお手伝いさせて頂いてまいりましたが、このたび出会いの場をより広げるために近隣稲門会の方々にも参加頂きたくご案内をさしあげます。

利用者資格	稲門会の会員・会員の子供および会員の責任ある紹介による方。年齢は問いません。
申込み方法	所定の登録申込書に写真2枚と連絡通信費800円(80円切手10枚)を添えて申し込む。 (登録費等は無料)
相談内容	登録者にふさわしいと思われる方との出会いの場を設ける。
その他	ご成婚の場合には一組5万円(各々2万5千円)を西東京稲門会にご寄附願います。 この件に関しては副会長の滝川桜子さんにご担当いただくことになりました。登録希望者またお問い合わせは滝川さんまでお願い致します。(394-8187)



「稲門会のこれからの想う」

深瀬 聡(S51理工)

先日東京タワー特設会場で開かれている山本作兵衛展に出かけた。氏は、自身の炭坑での記憶を解説付きの独特の絵として残し、それらが2011年に日本で初めて世界記憶遺産として認定され話題を呼んだ。普段は九州の石炭博物館でしか見られないが、今回東京で特別展が開催されたのを機に出かけた。予期せぬことであったが、会場を巡った最後の部屋は「昭和の街」を再現したコーナーであった。「スバル360」有り、「昭和の横丁」有りであれば懐かしさに浸った後、駄菓子屋を模した売店で今は見かけることも少ない「都こんぶ」や「サイコロキャラメル」などを買い求めた。

最近「昭和の街」のブームであるそう。豊後高田市では町おこしの目玉として昭和の街づくりを進めている。また昭和の時代の収集品を展示し街並みを再現した個人博物館が、富山県の氷見市や岐阜県高山市で観光客を集めているという。その昭和館にひとたび足を踏み入れれば、まさに昭和にタイムスリップし、特に熟年世代にとっては懐かしい品々に再会することができ、子供のころや青春まっただ中のころに引き戻されること間違いなし。そこはデジタルCDではないアナログのレコードの世界であり、電子メールではない手書きの郵便の時代である。

昭和の時代を懐かしく思う人が増えているのはなぜであろうか。特に戦後間もないころから高度経済成長時代に突入する前の時代を生き抜いた世代にとっては、昭和といえば誰もが貧しく隣近所が手を取り合って助け合って暮らしていた時代であり、また明日の我らの暮らしはきっとよくなると信じて皆懸命に働いていた時代であったろう。貧しいけれど暖かさに満ち溢れた時代であったに違いない。それは都会である東京も例外ではなかったはず。「ALWAYS 三丁目の夕日」で描かれたように、人と人が濃密にかかわる世界があったのだ。子供たちだって今のように塾通いに忙しくはなく、おそ松君の六つ子たちのように愉快で刺激的な世界が繰り広げられていた。そのような温もりを人は懐かしいと思うのであろうか。翻って今の時代を見渡せば、「隣は何をする人ぞ」と関心は薄れるばかりで、職場にあってさえ上司からの指示連絡はほとんど電子メールでうけとるようになり、一日中会話を交わさないことも不思議ではないありさま。隣に座っていても心理的な距離は外国にいるのときほど変わらないのではあるまいか。

そんな時代であるからこそ、稲門会の役割があるのかもしれない。東村山という地域と、同じ学窓で学んだというだけの繋がりではあるが、その両者を掛け合わせて生まれる小さな確率の下にしばしば集うのも、まさに縁というもの。顔と顔を突き合わせて、「お元気ですか?」「しばらくですね!」と声を掛け合うことができる人が地域に居るといっても、ありがたいこと。昭和に戻ることは最早できないけれど、稲門会が人と人をつなげる役割を果たしているのであれば、会員は昭和の精神を幾分なりとも取り戻しているのかもしれない。そのような地域の集まりがあっても良いと思う。

同好会等 短期予定表												
同好会・行事	7月					8月					世話人 (問合せ先)	
	日	曜	時間	場所	備考	日	曜	時間	場所	備考		
ウォーキングの会	28	日	8:55	東村山駅下りホーム		—	—	—	—		高橋正	042-309-3407
郷土史の会	—	—	—	—		—	—	—	—		高橋正	042-309-3407
テニス同好会	13	土	9:00~11:00	運動公園A		23	金	17:00~19:00	運動公園A		田島	042-396-7676
	20	土	9:00~11:00	運動公園A	予備日	—	—	—	—	予備日		
囲碁同好会	—	—	—	—		17	土	13:00~	市民センター別館		高鷺	042-394-2336
カラオケ同好会	6	土	19:00~	カラオケ家		—	—	—	—		内藤	042-393-5071
園芸の会	—	—	—	—		22	木	14:30~	スポーツセンター		當摩	042-396-3033
麻雀同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		阿部	042-332-0298
音楽同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		市川	042-308-8181
俳句同好会	—	—	—	—		24	土	14:00~	「丸藤」2階		井垣	04-2924-2934
ゴルフ同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		石川	042-394-4702
早稲田スポーツ応援の会	—	—	—	—		—	—	—	—		大内	042-393-6543
	6	土	10:00~12:00	シルバー人材センター	勉強会	10	土	10:00~12:00	シルバー人材センター	勉強会		
パソコン同好会	27	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会	24	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会	小菅	042-391-0219
	27	土	15:00~16:00	シルバー人材センター	相談会	24	土	15:00~16:00	シルバー人材センター	相談会		
雑学講座	—	—	—	—		—	—	—	—		當間	042-391-6023

— : 対象月に開催予定無し * : ニュース編集時点で未定。詳細は世話人にお問合せ下さい。

編集局だより



☆ 東村山市関係 (会からのお知らせ-続き)

東村山市長が法王に訂正要求 「出世主義はハンセン病」

東村山市は6月18日、ローマ・カトリック教会のフランシスコ法王の発言を遺憾とし、発言の訂正を求める渡部市長の文書を、ローマ法王庁大使館あてに発送したと発表した。

市によると、法王は6月6日、バチカンでの演説で、聖職者の過度な出世主義を批判し、「出世主義はハンセン病」と述べた。同市は「法王に差別の意図はないと思うが、影響が大きいので、誤解を解いて頂きたい」としている。渡部市長は、全国ハンセン病療養所所在市長連絡協議会会長を務めている。

○私も上記の新聞記事が目にとまりました。法王の発言に対する市の対応には頷けます。

○次号の原稿締め切りは7月26日(金)です。よろしくお願いたします。(中村)

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

潮の香にあぢさゝる憩ふ古き寺	丸本 北窓
父の日や嫁ぐ娘の輝ける	八木 竜湖
田を植つる大地は母となりけり	
老鷺の朝一番を支配せり	山下 波雲
雨催ふ朝の写経や濃紫鵝花	
あぢさゝるや交り淡き兄弟	粟島 三郎
梅雨晴間にわか多忙の散髪屋	
雨に映え青にはじまる七変化	井垣 稻雀
リフォームの壁を狭しと夏の蝶	
何思い啼くや闇夜のほととぎす	出田 麦穂
古い先も華はあるらむ七変化	
若き日の夢はいづこぞ明易し	風間 和夫
鉢植えの紫陽花並ぶ裏長屋	
老鷺に耳かたむけし山の宿	菊田 一平
まだらに日射して山女魚の沢の水	
養殖の鱒のきらめき夏旺ん	幸田 瑞雄
初夏の風彩雲纏ふ朝の富士	
紫陽花や母と植えたる日にも雨	小亀 稻生
夕どきの散歩紫陽花花明り	
早起きも習いとなりて明け易し	高部 糸行
五月間笥の音の迫りくる	
七変化今朝何色ににじみ出ん	
若竹の風にそよぎて雨笠持ち	内藤 慎
降る雨にももの思う日の杜若	